

地域貢献・連携研究会の活動

2015年7月24日（金）

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)
地域貢献・連携研究会

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

◆**会員数 24名**

◆**座長 鍵屋 一（跡見学園女子大学）**

◆**副座長 磯打 千雅子（香川大学）**

平成26年度の活動ハイライト

◆中澤幸介 新建新聞社リスク対策.com 編集長の講演 「地縁を活かした企業のBCP」

◆概要

- I. 日本と中国の復興の違い
 - II. オイルプラントナトリ事例
(早期復興の理由=①BCPを策定、②状況判断力、指揮統制力、③同業者、地域との連携重視)
 - III. 大槌町城山観光(地域のニーズに応える)
 - IV. 沼津建設事業協同組合(市の協定内容を実質化)
 - V. 大塚製薬工場(地区防災計画の策定へ)
- ⇒個別最適から全体最適へ「木を見て森も見る」

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

平成27年度以降の活動展望

「地区防災計画への企業の積極的参加」

- 1) 地域コミュニティにおける共助の推進ため「地区防災計画制度」が新たに創設された
 - 2) 市町村内の一定地区居住者及び「事業者」が自発的に防災活動を計画
 - 3) 「事業者」は地域住民と連携して、共助の強化により地区防災力を向上
 - 4) 発災後3日は地域コミュニティで生き抜くこと
- 企業社員は帰宅困難者ではなく、地域での初動対応要員としての心構えと、計画と訓練が重要になる

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

**ご清聴をありがとうございました。
御社のBCMのご発展をお祈り申し上げます。**

**特定非営利活動法人
事業継続推進機構
地域貢献・連携研究会**

A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)